

まちなか自動移動サービスの実証実験に関わる保険商品について

～自動運転技術を活用した移動サービスの社会実装に向けた取り組みを保険面からサポート～

2018年12月17日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）は、株式会社日本総合研究所（社長：瀧崎 正弘、以下「日本総研」）が主催する「まちなか自動移動サービス事業構想コンソーシアム」（以下「本コンソーシアム」）が、2018年12月16日から神戸市北区の住宅地で実施する自動運転技術を活用した近隣移動をサポートするサービス（以下「まちなか自動移動サービス」）の実証実験^{※1}を取り巻くリスクへの補償として保険商品の対応で協力します。

あわせて、当社においては、本コンソーシアムが目指すまちなか自動移動サービスの社会実装の実現に向けた保険商品等の開発を行っていきます。

※1まちなか自動移動サービスの実証実験の詳細については日本総研のニュースリリース
(<https://www.jri.co.jp/company/release/2018/1214/>) をご参照ください。

1. 本コンソーシアムにおける当社の取組内容

本コンソーシアムでは、まちなか自動移動サービスの実現に向けて、社会実装に必要な車両のほか、システムの仕様や事業仮説を検討しています。

当社は本コンソーシアムにスタート時点より参画しており、コンソーシアムメンバーによるワークショップ等で、当社の自動運転車に関わる保険研究やノウハウを提供し、保険面から取り組みをサポートしています。主な取組内容は以下のとおりです。

- (1) 自動運転車を活用した移動サービスの実用化を見据えた最適な保険商品等の開発
- (2) 自動運転車事故時の対応に係る態勢構築のサポート

2. まちなか自動移動サービスの実証実験における当社の取組内容

まちなか自動移動サービスの実証実験（以下「本サービス実証」）において、当社は、実証実験の実施をサポートするため、実証実験の運行主体であるバス事業者と保険契約を締結し、実証実験を取り巻くリスクに対する総合的な補償（自動走行実証実験総合補償プラン^{※2}）を提供します。

あわせて、本サービス実証への参画を通じて、まちなか自動移動サービスの将来の実用化を見据えた総合的なリスク検証を行うとともに、本コンソーシアム参画企業への保険関連ニーズの確認により、まちなか自動移動サービスに最適な保険商品等の開発を進めていきます。

※2 自動走行実証実験総合補償プランは、MS&ADインシュアランスグループの当社と三井住友海上火災保険株式会社が共同開発し、2015年12月より販売しています。

当社は、本コンソーシアムへの参画を通じて、まちなか自動移動サービスの社会実装の実現により、安全・安心なクルマ社会の実現に貢献するとともに、地域創生の取り組みをサポートしていきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が共通した
「持続可能な開発目標」です

主に貢献しているSDGs目標

